

平成29年度第3回野田市コミュニティバス検討専門委員会議

会 議 次 第

日時 平成29年10月30日（月）

午後1時30分から

場所 市役所低層棟4階 職員控室

1 開会

2 副市長挨拶

3 議事

まめバス運行計画見直しについて（資料1）

4 閉会

まめバス運行計画の見直しについて

平成 29 年 8 月 17 日に開催した第 2 回野田市コミュニティバス検討専門委員会における以下の意見等に基づき、修正案を作成した。なお、前回提示した四つの運行計画案を集約し、基本案の懸案事項を改善した、A2 案及び B2 案の二つの案を基に、委員からの意見等を反映させた二つの運行計画修正案とした。

1 コミュニティバス検討専門委員の意見

① 8 月 17 日の会議時の意見

- ・ いちいのホールから市役所までの時間短縮を図るため、急行ルートを設定しているが、関宿地域からは川間駅への利用者が多いことから、川間駅への経由は必要である。
- ・ 急行ルートについて、市役所は土日祝日は休みにもかかわらず、土日祝日に運行する必要があるか。
- ・ 関宿地域から市役所へのまめバス利用者がどの程度いるのか、乗降調査をもう一度行ってみてはどうか。

② 会議終了後の意見

- ・ 野田市駅へのアクセスが少ないのではないか。
- ・ A 案、A2 案では、福田地区（白鳥の池入口～しらさぎ通り入口）の減便数が多いのではないか。

2 関宿地域から市役所までの利用者への調査の実施

北ルートの関宿中央ターミナル発及び新北ルートのいちいのホール発について、市役所バス停において 8 月 29 日（火）から 9 月 4 日（月）までの平日 5 日間、聞き取り調査を実施した。

① 調査対象

- ・ 市役所開庁時間に市役所に到着する北ルート 9 便（市役所着 8 時 50 分～15 時 55 分）、新北ルート 3 便（市役所着 8 時 46 分～14 時 40 分）
- ・ 北ルートは関宿中央ターミナル～ウェルフェア前の間、新北ルートはいちいのホール～岡田河岸の間から乗車した方

② 聞き取り内容

- ・ 乗車したバス停
- ・ 市役所バス停への利用頻度（まめバスを利用してよく市役所(市役所バス停)に来るのか、たまたま来たのか）
- ・ 土日祝日の利用（本日と同様に市役所(市役所バス停)を利用するか）

③調査結果【資料 1-1 参照】

- ・ 関宿地域から、市役所への利用者数は、5 日間全体で北ルートが 22 人、新北ルートが 6 人、1 日平均では北ルートが 4.4 人、新北ルートが 1.2 人であった。
- ・ 北ルート、新北ルート合わせて仕事（通勤）で利用している方は 3 人であった。
- ・ その他定期的に、小張病院、イオンノア、クラブ活動により定期的に利用する方が 7 人であった。
- ・ アンケート全体で、たまたま利用した方が 11 人であった。
- ・ 土日祝日の利用については 5 人であった。

3 運行計画案の修正案のポイント

- ・ 全案とも急行ルートの見直し（急行ルート自体を取りやめ、あるいは運行区域を見直し川間駅を経由する。）
- ・ 野田市駅へのアクセスの向上
- ・ 福田地区の減便の緩和
- ・ 収入見込額の単価の見直し

4 その他

- ・ 運行経費の積算単価の見直し
運行経費の積算単価が新たに示されたことより、経費見込み額が増額となる（人件費単価が約 2.5%増）。

5 運行計画見直し修正案

1) 修正A2案<図1>

①A2案からの修正点

- ・ 前回提示した急行便のルートを取りやめ、代わって新北ルートについて、イオンタウンで折り返していたものを、16号を通り市役所を経由し、老人福祉センターまで延伸する。
- ・ 浮いた1台で新たに南ルート（循環）<ピンク>を設定し、福田地区の減便を緩和する。
- ・ 上記の南ルート（循環）<ピンク>の設定により、新下町付近のが増強されたため、南ルート（愛宕駅）<緑>を市役所から野田市駅を経由し大殿井方面まで延伸し野田市駅へのアクセスを向上する。

②修正後の各ルートの概要

全体

- ・ 全11ルート、平日122便、土日祝日91便
- ・ 年間運行距離数 642,423km

急行ルート（新北）<茶>【修正】

- ・ いちいのホール～向ノ内～県道我孫子関宿線～関宿高入口～関宿総合公園～関宿滑空場入口～江戸川左岸道路～尾崎小前～川間駅南口～イオンタウン～国道16号～市役所～旧日光街道～大殿井～電建第一住宅～老人福祉センター
- ・ 片道26.6km、80分
- ・ いちいのホール～米蔵間及び市役所～老人福祉センター間は全バス停に停車
- ・ 国道16号にはバス停を設けず、市役所に急行
- ・ 平日8便、土日祝日は6便

南ルート愛宕駅<緑>【修正】

- ・ 市役所～愛宕駅～上町～流山街道～梅郷駅～流山街道～西新田自治会館前～みずき4丁目公園～ハローワーク野田～流山街道～梅郷駅～流山街道～上町～愛宕駅～市役所
- ・ 片道9.5km、30分
- ・ 平日8便、土日祝日は6便
- ・ 上記の南ルート愛宕駅に、次のルートを加えて1台で対応
【追加ルート】
市役所～野田市駅～大殿井～下鹿野～電建第一住宅～みどり橋～大殿井～野田市駅～市役所
- ・ 片道12.1km、39分
- ・ 平日7便、土日祝日は4便

南ルート<ピンク>【追加】

• 老人福祉センター～梅郷 11 号公園～大殿井～中根～市役所～愛宕駅～上町～流山街道～梅郷駅～流山街道～みずき通り～流山街道～島会館入口～しらさぎ通り入口～老人福祉センター

• 1 周 20.8 km、69 分

• 平日 9 便、土日祝日は 7 便

※他の 8 ルートは修正なし。

③修正による A 2 案の改善事項及び懸念事項

• 急行ルートを取りやめ、代わりに新北ルートを変更し、川間駅を経由する急行ルートとした。

• 南ルートの循環ルートを設定し、福田地区の白鳥の池入口からしらさぎ通り入口間の現行 16 便を維持した。

• 南ルート愛宕駅ルートを、市役所から野田市駅を経由し大殿井方面（木野崎入口から下鹿野を通り、電建第一住宅、みどり橋）に延伸し、市役所方面及び大殿井方面から野田市駅へのアクセスを向上させた。

• 懸念事項として、急行ルート取りやめにより、下総利根大橋入口から木間ヶ瀬中前間がバス停廃止となるが、他の交通機関等による対応の方が即していると思われること。

• 現行ルートとの比較において、廃止した区間、減便した区間についての考え方は、別添資料 1-2 のとおり。

2) 修正B2案<図2>

①B2案からの修正点

- ・前回提示した急行便のルートを取りやめ、イオンタウンから国道 16 号を通り市役所までとしていたルートを、イオンタウンから川間駅を經由し、七光台駅、堤台地区を通り、樺のホールから市役所までのルートとした。
- ・前回提示した中ルート堤台<グレー>の起終点を市役所から野田市駅に変更（延伸）した。

②各ルートの概要

全体

- ・全 12 ルート、平日 104 便、土日祝日 77 便
- ・年間運行距離数 622,219 km

北ルート堤台・イオンタウン<茶>【修正】

- ・関宿中央TM～いちいのホール～向ノ内～県道我孫子関宿線～葵の園（野田病院）～イオンタウン～川間駅南口～七光台駅～桜の里2丁目～堤台松山～中野台入口～樺のホール～愛宕駅～市役所
- ・片道 23.9 km、79 分
- ・平日 8 便、土日祝日は 6 便

中ルート堤台<グレー>【修正】

- ・小山～田端～イオンタウン～川間駅南口～プラタナス通り～都市計画道路山崎吉春線～樺のホール～愛宕駅～市役所～野田市駅
- ・片道 16.5 km、55 分
- ・平日 10 便、土日祝日は 6 便

※他の 10 ルートは修正なし。

③修正によるB2案の改善事項及び懸念事項

- ・急行ルート取りやめ、川間駅を經由したルート設定としたことにより関宿地域から川間駅南口へ便数が現行 26 便から 29 便と 3 便増便するとともに、川間駅南口から市役所の追加となったルート間が増便となる。
- ・中ルート堤台の起終点を市役所から野田市駅に変更（延伸）したことにより、野田市駅への乗り入れが 9 便から 18 便と 9 便増便し、宮崎地区方面から野田市駅へのアクセスを向上させた。
- ・懸念事項として、急行ルート取りやめにより、上原三から檜溜間が現行の 9 便から 8 便と 1 便減便となるが（急行ルートは 10 便の設定）、周辺に利用可能な他ルートのバス停もあることから、利便性は確保されている。
- ・現行ルートとの比較において、廃止した区間、減便した区間についての考え方は、別添資料 1-3 のとおり。

6 運行経費見込額及び市支出見込額

1) 運行実績

- 平成 26 年度から平成 29 年度までの運行実績（見込）は下表のとおり。

（単位：千円）

年度	運行経費	運賃収入額	市支出額
26	97,110 (90,012)	27,165 (25,153)	69,945
27	95,298 (88,317)	26,860 (24,870)	68,437
28	108,739 (100,820)	25,884 (23,967)	76,853
29	109,019 (101,077)	24,902 (23,057)	78,020

- ※1 平成 27 年度以前は、委託契約のため税込み価格で支出
 2 平成 28 年度からは、補助金方式のため税抜き価格で支出
 3 () 表記は、税抜き
 4 平成 29 年度は見込み額
 5 26 年度に消費税率がアップしたことにより、26 年度以降、6,800 万円以内での運行ができなくなっている。

2) 運行経費見込額及び市支出見込額

- 前回の会議において、市支出見込額を 1 億円を目安として提示しているが、1 億円以内で運行を行うためには、運賃収入見込額は少なくとも A2 案で 37,790 千円（税込みで 40,813 千円）、B2 案で 33,735 千円（税込みで 36,434 千円）が必要

（単位：千円）

ルート案	運行経費見込額	最大運賃収入見込額	最大市支出見込額
		最小運賃収入見込額	最小市支出見込額
A2 案	148,813 (137,790)	52,531 (48,640)	106,169
		34,151 (31,621)	89,150
B2 案	144,434 (133,735)	41,742 (38,650)	107,763
		28,050 (25,972)	95,085

- ※ () 表記は、税抜き

○北ルート聞取り調査結果

資料1-1

調査日		8月29日(火)		8月30日(水)		8月31日(木)		9月1日(金)		9月4日(月)		合計	
便	市役所 到着時刻	全利用者	関宿から の利用者	全利用者	関宿から の利用者	全利用者	関宿から の利用者	全利用者	関宿から の利用者	全利用者	関宿から の利用者	全利用者 計	関宿から の利用者 計
1	8:50	25	0	24	0	28	0	29	0	26	0	132	0
2	9:28	34	1	27	0	25	0	19	0	21	2	126	3
3	10:07	25	1	34	1	16	1	22	0	38	0	135	3
4	11:38	17	0	13	2	14	1	19	4	25	2	88	9
5	12:17	32	0	29	0	16	0	25	0	30	0	132	0
6	12:52	10	0	24	2	14	1	31	1	19	1	98	5
7	14:25	18	0	13	0	11	0	21	0	20	0	83	0
8	15:25	14	0	12	0	23	0	19	0	13	0	81	0
9	15:55	16	0	8	1	14	1	12	0	9	0	59	2
合計(人)		191	2	184	6	161	4	197	5	201	5	934	22
利用率(%)			1.05		3.26		2.48		2.54		2.49		2.36

・乗車したバス停、利用頻度等

利用頻度	回答数	利用頻度の内訳	回答数
定期的に利用する	15	仕事のため(市役所の清掃作業のため)	5
		時々利用	3
		小張病院へいくため	2
		自宅が市役所付近で通勤時(帰宅)に利用	2
		1か月から2か月に一度程度利用	2
		クラブの参加のため(週3回)	1
たまたま利用した	7	初めての利用や市役所へはめったに来ない。	4
		たまたまの用事で利用	3

※同一の1人が5回利用

※同一の1人が2回利用

土日祝日の利用	回答数
利用する	6
利用しない	13
利用する場合もある(場合による)	3

○北ルート聞取り調査結果個別データ

NO	バス停名	性別	利用日	便	市役所バス停の利用頻度、目的等	土日祝日利用
1	関宿中央ターミナル	男性	8月29日	2	小張病院へいくため	通院で利用する場合あり
2	鴻ノ巣	女性	8月29日	3	仕事のため(市役所の清掃作業)	利用する
3	鴻ノ巣	女性	8月30日	3	市役所へたまたま用事で来たもの	利用なし
4	鴻ノ巣	女性	8月30日	4	市役所へはめったにこない(ほとんど川間駅)	利用なし
5	鴻ノ巣	女性	8月30日	4	No2と同じ利用者	利用する
6	関宿中央ターミナル	男性	8月30日	6	小張病院へいくため	時々通院のため利用
7	志部前堀	女性	8月30日	6	クラブの参加のため(週3回)	同様の理由で利用する
8	関宿複合センター入口	男性	8月30日	9	自宅が市役所付近、通勤の帰りに利用	利用なし
9	鴻ノ巣	女性	8月31日	3	市役所、イオンノア利用のため(週2~3回)	利用なし
10	鴻ノ巣	女性	8月31日	4	No2と同じ利用者	利用する
11	志部前堀	女性	8月31日	6	初めての利用。保健センター講座受講。	利用なし
12	関宿複合センター入口	男性	8月31日	9	No8と同じ利用者	利用なし
13	古布内山坪(関宿城ルート)	女性	9月1日	4	めったに利用しない(市からの通知による)	利用なし
14	鴻ノ巣	女性	9月1日	4	No2と同じ利用者	利用する
15	関宿中央ターミナル	女性	9月1日	4	2か月に一度程度	利用なし
16	上羽貫	女性	9月1日	4	たまたまの利用。(市の手続)	利用なし
17	砂南	女性	9月1日	6	時々利用(行事の打合せなど)	用事があれば利用
18	関宿中央ターミナル	女性	9月4日	2	月に1度利用	利用なし
19	岡田(新北ルート)	女性	9月4日	2	初めての利用。用事でたまたま来た。	利用なし
20	向ノ内鹿島神社入口	女性	9月4日	4	目的地は川間駅、友達とおしゃべりのため市役所へ	利用なし
21	鴻ノ巣	女性	9月4日	4	No2と同じ利用者	利用する
22	大山	女性	9月4日	6	時々利用(市役所へ相談のため)	利用なし

○新北ルート聞き取り調査結果

調査日		8月29日(火)		8月30日(水)		8月31日(木)		9月1日(金)		9月4日(月)		合計	
便	市役所 到着時刻	全利用者	関宿から の利用者	全利用者	関宿から の利用者	全利用者	関宿から の利用者	全利用者	関宿から の利用者	全利用者	関宿から の利用者	全利用者 計	関宿から の利用者 計
1	8:36	13	1	15	0	12	0	15	0	18	1	73	2
2	11:31	14	1	16	0	16	1	22	1	10	0	78	3
3	14:40	19	1	12	0	4	0	9	0	21	0	65	1
合計		46	3	43	0	32	1	46	1	49	1	216	6
利用率(%)			6.52		0.00		3.13		2.17		2.04		2.78

・乗車したバス停、利用頻度等

利用頻度	回答数	利用頻度の内訳	回答数
定期的に利用する	2	仕事のため	2
たまたま利用した	4	市役所へたまたま用事で来た	3
		イオンノアへたまたま用事で来た	1

※同一の1人が2回利用

土日祝日の利用	回答数
利用する	
利用しない	4
場合によって北ルート利用	2

○新北ルート聞き取り調査結果個別データ

NO	バス停名	性別	利用日	便	市役所バス停の利用頻度、目的等	土日祝日利用
1	木間ヶ瀬小前	男性	8月29日	1	仕事のため(約5回)	場合によって北ルート利用
2	工業団地入口(関宿城ルート)	男性	8月29日	2	市役所へたまたま用事で来たもの	利用なし
3	いちいのホール	男性	8月29日	3	市役所へたまたま用事で来たもの	利用なし
4	関宿郵便局前(関宿城ルート)	女性	8月31日	2	市役所へたまたま用事で来たもの	利用なし
5	岡田河岸	女性	9月1日	2	たまたまイオンノアに行くため	利用なし
6	木間ヶ瀬小前	男性	9月4日	1	No1と同じ利用者	場合によって北ルート利用

修正A2案

○廃止されるバス停（ルート）

現ルート名	バス停（ルート）	廃止理由
新北	・下総利根大橋入口 ・木間ヶ瀬前村 ・木間ヶ瀬中前	・他の交通機関等による対応の方が即していると思われること。
中	・乳児保育所入口	・周辺住民が利用可能な他ルートのバス停があり、利便性は確保されること。 ・ルートの利便性を考慮し、公共施設（櫛のホール）を通るルートとしたこと。
中	・小山 ・小船橋水辺公園 ・船形駐在所	・当該区間は、通過経路から飛び出した往復経路（往復約3km）でありながら、利用者のいない日が連続40日以上となることがあるなど、利用者が極端に少ないこと。 ・このような状況で25人乗りのバスを常時運行させることは、極めて効率が悪いこと。 ・地域性や道路条件を考慮すると、当該区間を含む利根川沿いの地域については、他の交通機関等による対応の方が即していると思われること。
中	・上中山 ・目吹高根 ・木野崎高根 ・斎場前 ・北大山 ・目吹二ツ塚 ・前耕地 ・1部消防団前	・当該地区付近の住宅の張り付き具合や運行経路を勘案すると、東部小前バス停から目吹前口道路を経由して我孫子関宿線に接続する経路の方が、現行経路に比して直線的であり、効率的であると思われること。 ・上記のとおり、現行経路は斎場前等をカバーするため、遠回りする経路となっているが、住宅の張り付きもそれほどなく、利用者も少ない。 ・これらの地域についても、小山地区同様他の交通機関等による対応の方が即していると思われること。

現ルート名	バス停（ルート）	廃止理由
中	・木野崎病院入口 ・下屋敷 ・鹿野自治会館入口	・周辺住民が利用可能なバス停があり、利便性は確保されること。 ・周辺住民への影響を抑えながら、ルートの短縮を図ることができること。
中	・七光台南 ・北部中前	・周辺住民が利用可能な他ルートのバス停があり、利便性は確保されること
南	・花井ポンプ場前	・新ルート上にバス停を移設して対応可能であること。
新南	・里区自治会館入口	・周辺住民が利用可能な他ルートのバス停があり、利便性は確保されること。 ・新たなルート（道路）設定による。

○減便されるバス停

現ルート名	バス停（ルート）	減便理由（懸念事項）
関宿城 新北	・白山神社入口 ・立山入口	・16便→12便 △4便 ・周辺住民が利用可能な他ルートのバス停があり、利便性は確保されること。
北	・砂南 ・志部前堀 ・下根 ・大山 ・ウェルフェア前 ・阿部 ・葵の園前（・野田病院） ・木戸口	・26便→25便 △1便（・イオンタウンへの乗り入れ便は3便増となっている）
北	・谷津 ・七光台団地入口 ・七光台	・17便→13便 △4便 ・周辺住民が利用可能な他ルートのバス停及び路線バスがあり、利便性は確保されること。

現ルート名	バス停（ルート）	減便理由（懸念事項）
北	・南通り ・中央公園 ・プラタナス通り ・第五公園 ・岩名中前 ・岩名香取前	・26 便→23 便 △3 便 ・全便がイオンタウンに乗り入れており、買物や通院等の利便性は向上すること（イオンタウン乗り入れ便数9 便→23 便）。 ・トータル 23 便が運行するので、利便性は確保されると思われること。
北	・自由大広場 ・総合公園 ・野田貝塚 ・清水公園駅 ・清水郵便局前 ・清水中 ・旧さくら並木入口 ・清水八幡神社前	・17 便→14 便 △3 便 ・全便がイオンタウンに乗り入れており、買物や通院等の利便性は向上すること（イオンタウン乗り入れ便数0 便→14 便）。
北 新北 中	・中野台鹿島町 ・中野台入口 ・中野台鹿島神社前	24 便→18 便 △6 便 ・連なって運行するルートを見直し効率の良いルート設定としたこと。 ・トータル 18 便が運行するので、利便性は確保されると思われること。
北 新北 中 南 新南	・櫛のホール ・中野台	61 便→46 便 △15 便 ・連なって運行するルートを見直し効率の良いルート設定としたこと。 ・トータル 39 便が運行するので、利便性は確保されると思われること。
北 南 新南	・辻前	37 便→21 便 △16 便 ・連なって運行するルートを見直し効率の良いルート設定としたこと。 ・周辺住民が利用可能な他ルートのバス停があり、利便性は確保されること。
中 南 新南	・仲町	・28 便→17 便 △11 便 ・周辺住民が利用可能な他ルートのバス停があり、利便性は確保されること。

現ルート名	バス停（ルート）	減便理由（懸念事項）
南 新南	・キッコーマン前 ・新下町 ・長命寺前	・20 便→17 便 △3 便 ・新南ルートの経由便を廃止したことが減便となっているが、二中前通りと平成やよい通りのジグザグ運行を見直し、流山街道を直進するルートとしたことで、目的地までの所要時間が短縮され、利便性が向上すること。 ・トータル 16 便が運行するので、利便性は確保されると思われること。
南	・上花輪太子前 ・桜台 ・二中前 ・中根八幡公園	・16 便→12 便 △4 便 ・南ルートのジグザグ運行を見直し、効率の良いルート設定としたこと。 ・二中前通りと平成やよい通りのジグザグ運行の回り方を見直したことにより、例えば、中根八幡公園からノア前までの所要時間は20分程度短縮されるなど、利便性が向上すること。
南 新南	・桜木神社入口 ・花井	・20 便→12 便 △8 便 ・新南ルートの経由便を廃止したことなどから減便となっているが、二中前通りと平成やよい通りのジグザグ運行の回り方を見直し、例えば、花井からノア前までの所要時間は16分程度短縮されるなど、利便性が向上すること。

修正B2案

○廃止されるバス停（ルート）

現ルート名	バス停（ルート）	廃止理由
中	・乳児保育所入口	・周辺住民が利用可能な他ルートのバス停があり、利便性は確保されること。 ・ルートの利便性を考慮し、公共施設（櫛のホール）を通るルートとしたこと。
中	・富蔵院	・周辺住民が利用可能なバス停があり、利便性は確保されること。 ・北側の富蔵院駐車場付近へバス停移設により利便性を図るため。
中	・目吹高根 ・木野崎高根 ・木野崎病院入口 ・下屋敷 ・鹿野自治会館入口 ・斎場前 ・北大山	・周辺住民が利用可能なバス停があり、利便性は確保されること。 ・周辺住民への影響を抑えながら、ルートの短縮を図ることができること。
中	・七光台南 ・北部中前	・周辺住民が利用可能な他ルートのバス停があり、利便性は確保されること。 ・隣接しているイオンタウンバス停の利便性の向上を図るため。
南	・花井ポンプ場前	・新ルート上にバス停を移設して対応可能であること。
新南	・里区自治会館入口	・周辺住民が利用可能な他ルートのバス停があり、利便性は確保されること。 ・新たなルート（道路）設定による。

○減便されるバス停

現ルート名	バス停（ルート）	減便理由（懸念事項）
北	・上原三 ・船形入口 ・檜溜	9便⇒8便（△1便） ・周辺住民が利用可能な他ルートのバス停があり、利便性は確保されること。 ・1便の減便のため利便性は確保されている。

現ルート名	バス停（ルート）	減便理由（懸念事項）
北 新北 中 南 新南	・ 櫛のホール ・ 中野台	61 便⇒53 便（△5 便） ・ 連なって運行するルートを見直し効率の良いルート設定としたこと。 ・ トータル 56 便が運行するので、利便性は確保されると思われること。
北 南 新南	・ 辻前	37 便⇒20 便（△17 便） ・ 連なって運行するルートを見直し効率の良いルート設定としたこと。 ・ 周辺住民が利用可能な他ルートのバス停があり、利便性は確保されること。
北 新北 中 新南	・ 上町	46 便⇒27 便（△19 便） ・ 連なって運行するルートを見直し効率の良いルート設定としたこと。 ・ 周辺住民が利用可能な他ルートのバス停があり、利便性は確保されること。
新南 中	・ 琴平通り入口	11 便⇒4 便（△7 便） ・ 連なって運行するルートを見直し効率の良いルート設定としたこと。 ・ 周辺住民が利用可能な他ルートのバス停があり、利便性は確保されること。
中 南 新南	・ 仲町	28 便⇒16 便（△12 便） ・ 連なって運行するルートを見直し効率の良いルート設定としたこと。 ・ 周辺住民が利用可能な他ルートのバス停があり、利便性は確保されること。
南 新南	・ キッコーマン前 ・ 新下町 ・ 長命寺前	20 便⇒16 便（△4 便） ・ 周辺住民が利用可能な他ルートのバス停があり、利便性は確保されること。 ・ トータル 16 便が運行するので、利便性は確保されると思われること

現ルート名	バス停（ルート）	減便理由（懸念事項）
南	・上花輪太子前 ・桜台 ・二中前 ・中根八幡公園	16 便⇒12 便（△4 便） ・南ルートのジグザグ運行を見直し、効率の良いルート設定としたこと。 ・二中前通りと平成やよい通りのジグザグ運行の回り方を見直し、例えば、花井からノア前までの所要時間は 16 分程度短縮されるなど、利便性が向上すること。
南 新南	・花井 ・桜木神社入口	20 便⇒12 便（△8 便） （上記の理由と同様）